

令和4年度 教育事業(体験活動普及啓発事業)

絵本ライブ&ラリー

～からだ・からだ・だからだ!～(1年目)

1 事業概要

「With BOOK(本と共にある)」をコンセプトに、フリースタイルフットボールプレイヤーによるライブパフォーマンスとトークライブをきっかけに、身体感覚を伴う体験活動として「フリースタイルフットボール体験」を行った。また、絵本専門士とともに身体や五感にまつわる絵本の多読会を行い、感性を磨き、言葉を学び、表現力や想像力を豊かにする機会を設けた。絵本専門士による保護者対象に、読書や体験活動の意義に関する講義も行った。



2 事業の目的(ねらい)

本と共に身体感覚を伴う体験活動と読書活動を通じて、親子で「ほんとう」を探索し、探究心を育む。

また、絵本専門士と共に絵本探しと簡単絵本作り等を体験することで感性を磨き、言葉を学び表現力と創造力を豊かなものにする。

保護者に対し、読書や体験活動等の重要性を啓発するとともに、活動の様子を発信することで、幅広い普及・啓発を図る。

3 企画のポイント

○親子で絵本にふれる楽しさを体感できる場や機会を提供する。

○からだと五感に関する絵本をたくさん準備し、絵本の新しい楽しみ方を全国に普及していく。

○乳幼児がいる親子にも参加しやすいように託児ボランティアを依頼する。

4 主催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立大洲青少年交流の家

5 後援 大洲市教育委員会

6 期日 令和4年11月5日(土) 10:00~15:00(受付開始:9:30~)

7 場所 国立大洲青少年交流の家

8 参加人数 45人(未就学児 3名 小学生 28名 保護者14名 合計45人
[募集人数40名][小・中学生とその家族 20組(先着順)]

9 講師 フリースタイルフットボーラー 徳田 耕太郎 氏
絵本専門士 (平成28年認定 愛媛県第一号) 菅 弥和乃 氏
運営スタッフ 八幡浜市主任児童委員 清水 文子氏(託児・読み聞かせ等)

10 日程

10:00~10:05 開会式

10:05~10:50 <ライブパフォーマンス&トークライブ>
「きっかけは・・・本!」

11:00~12:00 <体験会>

「フリースタイルフットボール体験&体感~身体感覚をさぐれ!~」



13:00～14:00 <体験会>「絵本ライブ&ラリー～からだ・からだ・だからだ!～」

14:00～14:50【保護者】<講義>「だからだ!～体験を読書活動につなぐ魔法～」

【児童・生徒】<交流会>「絵本の読み聞かせ交流会」

14:50～15:00 閉会式・解散

1.1 活動内容

<ライブパフォーマンス&トークライブ>「きっかけは・・・本!」

大洲市出身でアジア人初・フリースタイルフットボールの世界チャンピオン・徳田 耕太郎氏のライブパフォーマンス&トークライブで、フリースタイルフットボールを始めるきっかけとなった本の紹介と本の魅力についてパフォーマンスを交えた話を聞いた。参加者は、本に関心を持つことができた。

フリースタイルフットボーラー 徳田 耕太郎 氏

<体験会>「フリースタイルフットボール体験&体感～身体感覚をさぐれ!～」

フリースタイルフットボールを体験しよう!自分の身体感覚を楽しんだ。

フリースタイルフットボーラー 徳田 耕太郎 氏

<体験会>「絵本ライブ&ラリー～からだ・からだ・だからだ!～」

身体をいっぱい動かして「からだ」と「五感」をテーマにした絵本の多読会を行った。また、五感で感じたことを記入して簡単な冊子を作った。

絵本専門士 菅 弥和乃 氏

【保護者】<講義>「だからだ!～体験を読書活動につなぐ魔法～」

絵本専門士より体験を読書活動につなぐ事例や絵本を紹介いただいた。

絵本専門士 菅 弥和乃 氏

【児童・生徒】<交流会>「絵本の読み聞かせ交流会」

体験会で作った冊子をもとに自分の気に入った絵本と感想を紹介したり、ボランティアに読み聞かせをしてもらったりした。

進行: 国立大洲青少年交流の家 企画指導専門職

【終日】託児ボランティアにより運営を補助いただいた。

八幡浜市主任児童委員 清水 文子 氏



1.2 参加者の声

参加者の事後アンケートの結果

【保護者】 *満足: 95% *やや満足: 0% *やや不満: 5% *不満: 0%

【幼児・小・中学生】 *満足 95% *やや満足: 0% *やや不満: 5% *不満: 0%

- 本の説明を聞いて、もっともっと本を読みたくなりました。
- フリースタイルフットボールは、初めて見たのですごく良かったです。
- 本の魅力を知り、これから本にチャレンジしてみたい。
- 長時間になると難しいかなと思いましたが、午前も午後も興味深く、親子共に楽しめました。

1.3 事業の成果

ホールいっぱいに広がる「からだ」と「五感」に関する絵本ライブラリーに、たくさんの絵本を読もうと必死になって絵本を探しだし、読む姿があった。一人で読むのではなく、誰かがそばにいて共に読む時間と場所があるからこそ、集中して多読する機会となった。「体験」もしくは「読書」がきっかけとなり、探求心につながる相互作用を感じる事業となった。

1.4 事業の課題

幅広い年齢層の参加があり、冊子作りではなかなか記入に至らない参加者もいた。文章記入ばかりではなく色を塗る程度のワークにするなど、対応が必要であった。

(絵本ライブ&ラリー担当者)